

# 今は未来のためにある

一人一人が主人公 ～規律を守り、全力で挑戦し、高め合える仲間たち～

No.34 令和8年1月8日 発行者;校長 小倉 大二

## 【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、  
思いやりの心を持ち、  
新たな価値創造に挑戦する中で、  
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

## 努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

令和8年の新しい年を迎えました。今年が、松ヶ江中学校の生徒、職員をはじめ、保護者、地域の皆様方にとって実り多い年になることを願っています。

上の言葉は、芥川賞作家の井上靖さんの名言です。3学期の始業式の際に、生徒の皆さんに紹介した言葉です。努力をする人は、物事を前向きに捉え、未来を語りますが、努力をしない人は現状の不満に対する愚痴や文句が多くなり、現状を変えるための努力を怠りがちです。つまり、井上靖さんが言う「努力をする人」というのは、たとえ現状に不満があっても、そこで文句は言わず、前向きに考えることができる人です。どんな困難があっても、前を向いて進み続ける勇気と努力こそが、未来を切り拓く力になるということです。

今年の干支は「午(うま)」です。古来より、馬は力強く、前へ進む象徴とされてきました。目的地に向かって馬は立ち止まることなく走り続ける動物です。その姿は、私たちが目標に向かって努力し続けることの大切さを教えてくれます。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」 ぜひ、皆さんには「不満を語る人」ではなく「希望を語る人」になってほしいと思います。

さて、3学期は一番短い学期です。また、「1月は行(1)く」「2月は逃(2)げる」「3月は去(3)る」と言われるように、普段よりも時が流れるのを早く感じられる学期でもあります。きっと、今年度もあっという間に時間が過ぎていくことでしょう。

短い学期だからこそ、自分の目標をしっかり立て、その目標に向かって頑張ることが大切になります。「備えあれば憂いなし」と言われますが、ぜひ、1日1日を大切に過ごし、自分の夢や目標に向け、備えをしっかりと蓄えてほしいと思います。

3年生は1月中旬から3月中旬にかけて高校入試があります。良い結果につながるよう、時間を大切に使う最後まで努力を積み重ねてほしいと思います。1・2年生は4月から1つ上の学年に進級します。ぜひ、後輩や新1年生の手本となれるよう、この3ヶ月で、松ヶ江中学校のよき伝統を引き継ぐ担い手になってほしいと思います。

新しい年のスタートです。自分の輝かしい未来のため、自分の可能性を広げるため、一日一日、一瞬一瞬を大切に過ごしていけることを願っています。

## 3学期の主な行事予定(入試関係以外の行事は変更になる場合もあります)

- 1月 8日(木)… 3学期始業式
- 1月 9日(金)… 給食開始、【3年】課題テスト(学習定着度診断シート)  
【3年】下関市の私立高校の(特別)専願入試
- 1月 27日(火)… 【3年】北九州市の私立高校推薦入試
- 1月 28日(水)… 【3年】下関市の私立高校の一般入試
- 1月 30日(金)… 【1年】関門ウォークラリー(校外学習)
- 2月 3日(火)… 【3年】公立高校特色化選抜・推薦入試(学校によっては4日も)
- 2月 4日(水)～2月 5日(木)… 【2年】職場体験学習(校外学習)
- 2月 5日(木)～2月 9日(月)… 【3年】私立高校一般入試  
2/5(水) 東筑紫学園、常磐、希望が丘、高稜、折尾愛真  
2/6(木) 豊国学園、慶成、九州国際大学付属、星琳、仰星学園、明治学園  
2/9(火) 敬愛、美萩野女子、真颯館、西南女学院、自由ヶ丘
- 2月 8日(日)… 【3年】国立工業高等専門学校一般入試
- 2月 16日(月)～17日(火)… 【1・2年】学年末考查、【3年】直前テスト
- 3月 10日(火)… 【3年】公立高校一般入試(技能テスト等がある場合は11日も)
- 3月 12日(木)… 【3年】第79回卒業証書授与式(生徒会等一部の1・2年生も参加)
- 3月 24日(火)… 【1・2年】修了式

※ 本年度より、例年行っていた小学校6年生、並びに、その保護者を対象にした「中学校説明会」は、全市統一でオンデマンドによるインターネット上での説明になります。

## 体調管理に心を配ろう!

昨年度の11月くらいから、インフルエンザが流行り始めました。

3年生は1月から3月にかけて高校の入試試験があります。人生の岐路を決める大切な試験です。受験当日や前日に体調を崩すことがないように、体調管理にはくれぐれも心を配って、1日1日を過ごしてほしいと思います。「うつらない」を心掛けてほしいと思います。

また、1、2年生も含め、「うつらない」「うつさない」を全員で心掛け、3年生の輝く未来を願っていきましょう。